



砂防を専攻する全国の大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験等の場を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組み等を学び、砂防事業の意義・役割について理解を深めてもらうことを目的として、「キャンプ砂防2016in立山」を開催しました。

開催期間:平成28年8月22日(月)～26日(金) 5日間

場所:常願寺川流域

参加者:大学生 計5名(群馬大学、静岡大学、筑波大学、京都大学)

主催:立山砂防事務所

協力:富山市・立山町・立山カルデラ砂防博物館

### 開講式挨拶



大坂事務所長



山元建設政策課長



山下建設課長

### 記念撮影



キャンプ砂防2016 in 立山

### 地域行政紹介

### 立山カルデラ砂防博物館見学



富山市  
(山元建設政策課長)



立山町  
(舟橋立山町長)



### 水源地調査

### 砂防工事現場体験



室堂

雄山登頂



情報化施工

協力会社  
平場建設(株)



コンクリート打設

協力会社  
新栄建設(株)



山腹工事

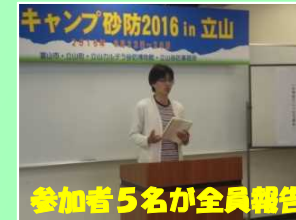
協力会社  
新栄建設(株)



枕木交換

協力会社  
高山地鉄建設(株)

### 報告会



参加者5名が全員報告



報告会の様子

報告会では  
●砂防事業が富山平野の暮らしを守っているということを中心に刻むことが出来た。  
●白岩砂防堰堤は立山カルデラ内にある膨大な土砂が富山平野に流出しないために建設された重要な砂防施設で有るのだと改めて感じた。  
●砂防事業の意義について体験してみないと分からないことが多かったため、毎日が学びの場であり、とても有意義な時間であった。  
●現場で実際に働いている人の話を聞きながら体験学習できたというのは非常に大きな意味のあるもので今後に生かしていきたいと思う。  
等々の報告内容が有りました。

### 開講式



修了証書授与

参加されたキャンプ生の皆様、5日間大変お疲れ様でした。